



シンポジウム \*中津市・別府大学連携事業\*

# 条里と道と祭祀

## —古代ローマと日本をつなぐ—

日時

平成  
27年

9.27 (日) 13:00~16:30

会場

中津市立小幡記念図書館研修室

【入場無料】

プログラム

記念講演

『古代ローマにおける方格地割の政治的機能と宗教的機能』

講師：アントワーヌ・ペレス氏（フランス・モンペリエ第三大学准教授）



パネルディスカッション

コーディネーター：飯沼 賢司氏（別府大学教授）

パネリスト：アントワーヌ・ペレス氏

山本 晴樹氏（別府大学教授）

木本 雅康氏（長崎外国語大学教授）

★別府大学生による沖代条里調査についての発表



# 条里と道と祭祀 —古代ローマと日本をつなぐ—

中津市沖代には1300年以上前に造られた600町に及ぶ広大な「条里」と呼ばれる方格地割(正方形に区切られた土地)があります。かつて全国に見られた条里地割は開発によって失われつつあり、水田のまま残る沖代条里は全国的にも極めてめずらしいものになっています。条里制は約1300年前、古代中国から日本に伝わりました。このような方格の土地地割制度は世界的にも共通性があり、古代ローマ帝国にも道の制度とともに方格地割が見られます。

ローマでは、その地割・道は皇帝礼拝の儀礼の場と密接に関連していることが注目されます。中津の沖代条里においても、古代官道(勅使街道)に沿って条里地割が引かれ、その水懸かりを巡る八幡鶴市神社の傘鉾が祭祀として継続しています。

今回のシンポジウムでは、フランスから講師をお招きし、ローマ、中国、日本という地域の地割、道、祭祀の共通性、違いなどを論じ、世界的な視点で沖代条里の価値付けを行うことを目指します。

## プログラム

- 13:00 - 13:20 開会  
13:20 - 14:50 記念講演 アントワヌ・ペレス氏(フランス・モンペリエ第三大学准教授)  
『古代ローマにおける方格地割の政治的機能と宗教的機能』  
(休憩)  
15:00 - 16:30 パネルディスカッション  
コーディネーター 飯沼賢司氏(別府大学教授)  
パネリスト アントワヌ・ペレス氏  
山本晴樹氏(別府大学教授)  
木本雅康氏(長崎外国語大学教授)  
★別府大学生による沖代条里調査の発表  
16:30 閉会

## 講師紹介

### アントワヌ・ペレス

1960年生まれ。1998年よりモンペリエ第三大学准教授。古代ローマの土地制度史、政治、宗教についての研究者。日本のマンガ文化などにも興味を持たれています。

### 飯沼賢司

1953年生まれ。別府大学教授。日本中世史、環境歴史学、八幡信仰などの研究者。

### 山本晴樹

1950年生まれ。別府大学教授。西洋史、古代地中海の歴史研究者。

### 木本雅康

1964年生まれ。長崎外国語大学教授。条里制、古代の道路についての研究者。

日時 平成27年9月27日(日)

13:00 ~ 16:30

会場 中津市立小幡記念図書館研修室

主催 中津市・中津市教育委員会・別府大学

